

1. 県内感染症情報

1) 全数報告感染症（1～5類感染症）

[]は無症状病原体保有者を再掲

結核が10件[1](松江圏域3件、雲南圏域1件、出雲圏域3件[1]、大田圏域2件、益田圏域1件)、アメーバ赤痢が2件(出雲圏域1件、浜田圏域1件)、侵襲性肺炎球菌感染症が3件(松江圏域2件、出雲圏域1件)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が4件(松江圏域1件、出雲圏域3件)報告されています。

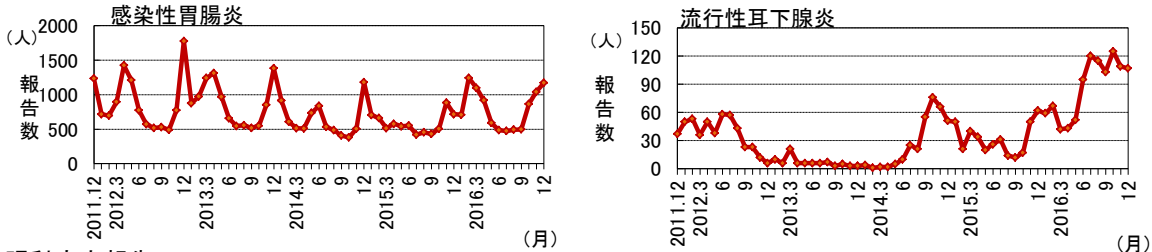
島根県保健環境科学研究所
島根県感染症情報センター
Tel :0852-36-8181

* 週報告医療機関からの報告患者数(4週換算) : 10月 1,892件 11月 1,927件 12月 2,140件

2) インフルエンザ及び小児科定点報告 ()内は月の定点当たり報告数(4週換算) []は週当たり定点当たり報告数

- インフルエンザ : (8.3)。県内全域の患者報告数は益田圏域(22)及び松江圏域(10)を中心に各圏域で増加し、第50週[1.8]には週の定点当たり患者報告数が流行開始の目安となる1.0人を超えています。A型が医療機関で検出(迅速診断)されています。予防接種、うがい、手洗い、咳エチケット等感染予防を心掛けましょう。
- 感染性胃腸炎 : (50.9)。薬事衛生課から冬季の食中毒注意報が発表されています。県内全域の患者報告数は増加し、12月上旬には出雲圏域(71)及び益田圏域(63)で、下旬には隠岐圏域(47)で各々週の定点当たり患者報告数が警報レベル[20.0]を超える流行となっているほか、各圏域で流行しています。冬季はノロウイルスを中心としたウイルス性食中毒が発生しやすい時期です。手洗いの励行と食品の取扱いに注意しましょう。
- A群溶連菌咽頭炎 : (8.2)。県内全域の患者報告数はほぼ横ばいです。松江圏域(19)を中心に、大田圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。合併症を来さないよう早期診断と確実な治療が重要です。
- 流行性耳下腺炎 : (4.7)。県内全域の患者報告数はほぼ横ばいですが、過去5年間の同期に比べ多い状況が続いています。特に、雲南圏域(15)では第50週[8.0]に警報レベル[6.0]を超える流行となっています。松江圏域(8)で第50週[3.0]に注意報レベル[3.0]の流行となっているほか、大田圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があり、注意が必要です。有効な予防方法は予防接種で、現在、任意予防接種として1歳以上で接種することができます。
- 手足口病 : (3.0)。県内全域の患者報告数は10月上旬第40週[2.2]をピークに減少していますが、出雲圏域(9)でやや増加しており、松江圏域(3)ほか、大田圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。
- RSウイルス感染症 : (2.8)。県内全域の患者報告数は10月下旬第43週[4.3]をピークに減少していますが、松江圏域(4)及び雲南圏域(4)ほか、大田圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。
- 伝染性紅斑 : (2.7)。県内全域の患者報告数は過去5年間の同期に比べ多い状況が続いています。特に、隠岐圏域(16)及び益田圏域(9)では週の定点当たり患者報告数が警報レベル[2.0]を超える流行が続いているほか、各圏域で患者発生報告があり、引き続き注意が必要です。
- 咽頭結膜熱 : (2.2)。県内全域の患者報告数はほぼ横ばいです。出雲圏域(4)及び雲南圏域(3)ほか、隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。
- 水痘 : (2.1)。水痘ワクチンの定期接種化に伴い、県内全域の患者報告数は過去5年間の同期に比べ少ない状況ですが、10月以降増加傾向を示しています。松江圏域(3)及び益田圏域(3)ほか、隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があり注意が必要です。

過去5年間の発生推移(2011年12月～2016年12月:月4週で換算)



3) 眼科定点報告

流行性角結膜炎が5件(出雲圏域)の患者発生報告があります。手洗い等感染予防を心掛けましょう。

4) 性感染症報告

性器クラミジア感染症が14件及び淋菌感染症が5件の患者発生報告があります。

5) 基幹病院報告

- マイコプラズマ肺炎 : 9件(4週換算)。11月に比べ減少しましたが、雲南圏域では4件(4週換算)と患者報告数の多い状態が続いています。
- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 : 19件。70歳以上が14件(74%)を占めています。

2. 病原体検出情報（2016年11月～2016年12月までの検出結果）

インフルエンザは、8月にA香港型が検出されて以降、県内全域でA香港型のみ検出されています。咽頭結膜熱は、アデノウイルス1型、2型及び3型及びエコーウイルス25型が、感染性胃腸炎は、ノロウイルスG IIが主に検出されています。手足口病は、8月以降コサッキーウイルスA6型が継続して検出されています。

2016年11月から2016年12月までの診断別病原体検出数:島根県保健環境科学研究所(一部抜粋)

病原体名・型	アデノ			キコクAサツ		エコー		エインザフル	R S	ライノ	ノロ		サポ	合計
	1	2	3	2	6	6	25	AH3			G1	G2		
診断名														
インフルエンザ								20						20
咽頭結膜熱	2	2	2	1				2						9
感染性胃腸炎							2	1			1	11	1	16
手足口病					5									5
咽頭炎		1					2			2				5
肺・気管支炎		2					1			1	2		1	7
発疹症								1						1
無菌性髄膜炎								1						1

島根県感染症発生動向調査情報（定点把握疾患：月集計）

島根県感染症情報センター
(島根県保健環境科学研究所)

2016年 12月

平成28年11月28日～平成29年1月1日

区分	県			圏 域 別																	報告数推移 [※]							
	合計	男	女	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	6M	12M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10-	20-	9月	10月	11月	12月	
インフルエンザ [※] 定点数	38			11	3	9	3	5	5	2																		
インフルエンザ	393	206	187	138	33	49	8	23	138	4	2	9	19	35	18	21	32	14	20	21	10	72	120	2	31	39	314	
小児科定点数	23			7	2	5	2	3	3	1																		
RSウイルス感染症	81	47	34	39	9	17	-	5	11	-	19	18	27	8	6	1	2	-	-	-	-	-	-	110	339	245	65	
咽頭結膜熱	64	33	31	17	7	23	2	7	8	-	1	12	25	8	10	1	5	1	-	-	-	1	-	48	34	49	51	
A群溶連菌咽頭炎	235	120	115	165	6	53	-	3	6	2	-	1	4	8	34	25	25	48	21	11	13	39	6	143	176	186	188	
感染性胃腸炎	1464	766	698	466	78	446	110	67	238	59	4	73	175	177	193	193	170	121	72	71	43	94	78	497	865	1041	1171	
水痘	59	28	31	28	2	7	5	7	10	-	2	3	9	4	6	10	10	3	5	2	3	2	-	15	26	37	47	
手足口病	87	52	35	29	1	55	-	1	1	-	1	15	41	11	7	1	4	2	-	-	-	2	3	86	149	86	70	
伝染性紅斑	77	37	40	5	1	5	4	7	35	20	-	-	4	4	8	20	8	11	11	4	3	3	1	54	44	59	62	
突発性発疹	60	37	23	19	4	22	1	3	11	-	1	23	32	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67	48	47	48	
百日咳	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	1	
ヘルパンギーナ	4	2	2	3	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	24	14	10	3	
流行性耳下腺炎	134	88	46	66	38	10	-	3	17	-	-	11	15	11	19	19	7	12	14	9	5	11	1	102	125	109	107	
眼科定点数	3			1		1		1																				
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	3	2	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	13	3	2	4		
基幹定点数	8			1	1	2	1	1	1	1	0歳	1-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	60-					
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	3	-	
マイコプラズマ肺炎	11	5	6	1	5	-	2	2	-	1	-	-	3	3	1	1	1	-	-	-	-	-	2	14	32	13	9	
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	

※月の週数により補正しています。

島根県感染症発生動向調査情報 (STD定点・基幹病院定点報告:月報)

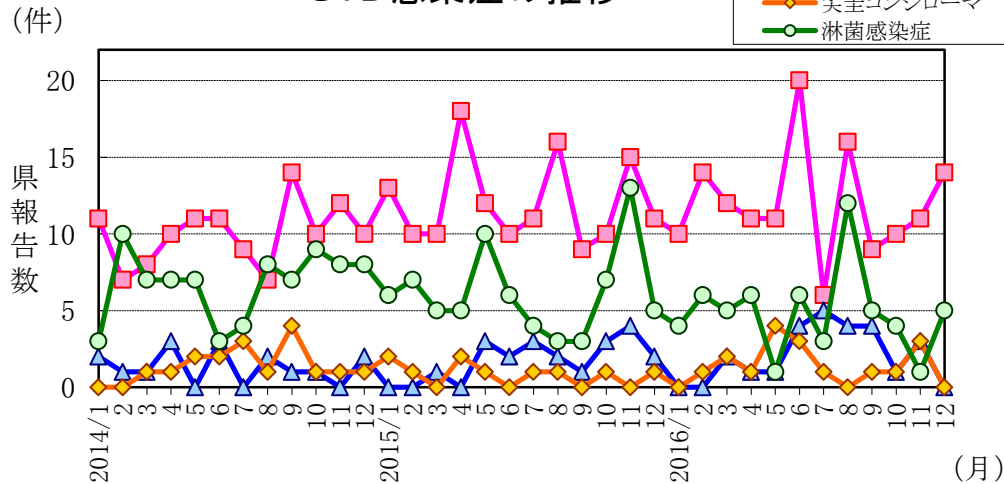
島根県感染症情報センター
(島根県保健環境科学研究所)

2016年 12月

平成28年12月

区分	県		地区別				年齢区分							過去報告数(月)														
	合計	男	女	東部	中部	西部	隠岐	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12月(今月)
STD定点	6			2	2	2	0									6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
性器クラミジア感染症	14	11	3	8	3	3	-	-	3	6	4	1	-	-	-	11	10	14	12	11	11	20	6	16	9	10	11	14
性器ヘルペスウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	1	1	4	5	4	4	1	3	-
尖圭コンジローマ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	1	4	3	1	-	1	1	3	-
淋菌感染症	5	5	-	-	2	3	-	-	-	-	2	3	-	-	-	5	4	6	5	6	1	6	3	12	5	4	1	5
基幹病院定点	8			1	3	3	1									8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	19	14	5	2	5	11	1	2	-	-	-	-	-	3	14	26	32	34	34	24	24	23	24	23	32	24	23	19
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

STD感染症の推移



薬剤耐性菌感染症の推移

